

「教育の質の向上と 教員の働き方改革について」

～ 生駒市の取組から ～



令和5年2月10日（金）

令和4年度 奈良県教育サミット

生駒市教育委員会教育長 原井葉子





生駒市教育委員会では、平成31年2月に、

「教職員がいきいきと子どもと向き合う時間創造プログラム」を策定

<https://www.city.ikoma.lg.jp/cmsfiles/contents/0000017/17352/190807jikansozo.pdf>

- 1 マンパワーの充実⇒部活動支援員、スクールサポートスタッフ、地域人材の活用等
- 2 時間を意識した働き方の徹底⇒留守番電話、勤務時間の把握、意識改革等
- 3 事務処理の効率化⇒校務支援システム、ICTによる情報共有、諸調査の精査等

【本日の事例発表】

- 1 校務支援システム・ICTの活用による働き方改革
- 2 部活動の地域移行
- 3 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置





- 1 校務支援システム・ICTの活用による働き方改革
 - 校務支援システムやGoogleWorkspaceを使用した情報共有による職員朝礼等の廃止や削減
 - GoogleWorkSpaceの活用
学校アンケートをGoogleFormを使って集計、職員会議のペーパーレス化、職員室のクラスルームを作成し、情報共有、場所に縛られない職員会議の開催
Meetやドキュメントなどの共有機能を活用し、職員室だけでなく教室や、自宅から参加できる
 - Googleチャットを活用した非同期型の職員の情報共有
職員室と教室との連絡にチャットを活用
 - 指導主事と管理職の連絡に校務支援システムやGoogleチャットを活用
 - 学校から市教委へ提出する書類にスプレッドシートを活用
これまでエクセルシートで提出してもらい、市教委で情報をまとめていたものを、1つの共有ファイルに書き込んでもらうことにより、まとめ作業を削減
 - 留守番電話の導入（R2.8～）夜18:30～翌朝7:30
 - 「すぐーる」（学校・保護者をつなぐ連絡アプリ）R4.11～
欠席連絡等、朝から電話が鳴ることがなくなった
プッシュ通知、データでの配布によりペーパーレス化（紙の分配作業なくなる）



■ 1 校務支援システム・ICTの活用による働き方改革

- 生駒市校長会・教頭会
 - 事前周知による情報共有
 - 各自、端末を持参
 - **GoogleWorkspace**を使用し、資料のペーパーレス化を図っている。

○ ほとんどの学校で、同様に職員会議資料のペーパーレス化、情報の共有化による職員朝礼等の廃止、削減を行っている。



2 部活動の地域移行

新たな地域クラブ推進事業(案)

運営
主体

新たな地域クラブ活動推進協議会
【事務局：生駒市生涯学習部スポーツ振興課】

情報提供



研修会開催



指導者養成



指導者派遣依頼

新たな地域クラブ

協議会が創設する新たな地域クラブ

4Tクラブ
文化芸術探究クラブ

学校部活動に
なかった種目

学校部活動合同チーム
+ 小学生など

学校部活動合同チーム
+ 他地域部員など

実施
主体

スポーツ協会

総合型SC

指定管理者

吹奏楽団体

令和7年度までに休日の学校部活動の地域移行を目指す

部活動指導員の増員・充実

各中学校・各部活(運動部、文化部)



■ 2 部活動の地域移行

新たな地域クラブ活動推進協議会(案)

新たな地域クラブ活動推進協議会

市教育委員会(スポーツ振興課・教育指導課)

中学校

指定管理者

市スポーツ協会

吹奏楽関係団体

文化芸術団体

市内総合型地域SC

構成	生駒市教育委員会、中学校、生駒市スポーツ協会、市内総合型地域スポーツクラブ、指定管理者、吹奏楽関係団体、文化芸術活動団体 など
事務局	生駒市スポーツ振興課
ミッション	①新たな地域クラブ活動推進コーディネート(構築・管理・運営) ②学校部活動の統廃合やチーム構成の再編、小学生など地域住民のスポーツ参加機会の創出、学校部活動や新たな地域クラブへの指導者紹介、研修会の開催 など ③4T(多世代、多種目、多志向、多様性)クラブ、文化芸術探究クラブの設置や運営支援 ④学校体育施設開放事業利用に伴う新たなルールづくり ⑤その他、地域クラブ活動体制の充実に関すること



3 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置

◎ 市内配置(週3日)

令和元年度 壱分小

令和2年度 壱分小、生駒小、南第二小

令和3年度 市内全小・中学校に配置

◎ 業務内容

・ 生駒市では、令和3年度より全ての小・中学校に**学校運営協議会**を設置。

・ スクール・サポート・スタッフが、**地域学校協働活動の調整役**を担い、活動の計画、依頼、準備、礼状の送付、情報発信などに携わることで、**地域の人材活用が進み、教員や管理職の負担軽減に繋がっている。**

生駒南第二小学校コミュニティ協議会 2022年12月20日発行
二小コミスクだより

日頃は、本校教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。
また、二小コミュニティ協議会の皆様には、今年度も、二小の子どもたちの学びのためにさまざまな活動にご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。
今年度は、二小創立40周年の年として、航空写真撮影や祝う会など、数々の周年行事を行って参りました。その中で、児童職員ともに「二小の素敵どころ」「引き継いでいきたい伝統」などを考え、地域の方々の学校への支援に感謝するとともに、「みんなの二小」を大切にしたいと思いを強くいたしました。
これからも、地域の皆様とともに未来に向かって二小の歴史を築いて参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

10月1日 稲刈り
今年は、地域の方の田んぼで、田植え、稲刈り体験ができました。できたお米をつかって、野外活動や家庭科で炊き立てのごはんをいただきました。

二小ファーム秋の収穫と植え付け
二小ファームでは、夏から秋にかけてたくさん収穫がありました。今年は、ヤーコンや落花生などにも挑戦しました。プランターに花の植え付けもお手伝いいただきました。

10月25日 1年生 秋の台公園見学
「小さい秋みつけた!」

10月31日 1・2年生 やきいも
ほくほく、おいしいやきいもができました。

クラブ活動の支援
今年は、3つのクラブで地域の方々に協力いただいています。アートクラブでは、地域の方の田からきた稲わらと、二小ファームでできたとうがらしを使って、しのなわをつくりました。

12月5日・12日 絵本の読み聞かせ
今年は、大型のモニターも使いながら、「朝の15分間・絵本」も聞かせをお願いしました。子どもたちは、毎回、時間を楽しみにしています。

10月20日・24日 家庭科(ミシン)
5年生のミシンの授業でも、お手伝いいただきました。

ほかにも、二小のスペシャルがたくさんつめこまれてきていますよ。

はばたきタイム たてわり活動のグループで、それぞれの班のテーマをもとに、地域のサポーターの皆さんの力をお借りして、充実した活動をしています。ロングタイムには各班、地域のスペシャルを発見する楽しい活動が行われました。

赤2班 乙田の文化財記念館、赤4班 竜田川の探索、赤3班 KOTO 卓球教室見学、青3班 大谷川のホテルのお話、青5班 小平尾児童館見学、青4班 「かざぐるま」さん招いての紙すき体験、青1班 地域ボランティアの活動のゴミ拾いを体験。

教員業務支援員が作成して保護者や地域に配布している



○ 教職員の超過勤務時間の推移

年度	45～80時間	80～100時間	100時間超
令和元年度(5月～)	2055人(30.4%)	302人(4.5%)	89人(1.3%)
令和2年度	745人(10.3%)	42人(0.6%)	8人(0.1%)
令和3年度	835人(11.2%)	89人(1.2%)	33人(0.4%)

○ 今後の取組

生駒市では、今年度より教育指導課に「教育政策室」を設置
 校長・教頭の面談、教頭のシャドーイング調査、教職員へのアンケート調査を実施

令和5年度の計画

- ・ 教頭の文書処理業務にかかる時間・労力の半減プロジェクト
- ・ 新任教頭の業務補助
- ・ 働き方改革の管理職・ミドルリーダー研修

